

支え合うまち小松島

社協だより

小松島地区社会福祉協議会
 仙台市青葉区小松島4-7-1
 (小松島コミュニティセンター)
 TEL: 022-274-6181

地区社会福祉協議会 菅原会長 あいさつ



日頃より、本会の事業推進に対して、ご支援ご協力を頂き誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大により地域住民の安心や安全に心配り、活動を推進くださっていることに感謝申し上げます。最近の新型コロナウイルスの感染状況は、仙台市では学校や介護施設でクラスターの発生により、住民同士の日常的な交流をも不安にさせています。当地区でも感染の不安からやむをえずサロンや談話室「コミセン」の開催の自粛や中止とさせていただいています。これまで地区社協として、気にかけてきた方々が自宅にこもりがちになり、高齢者の健康が損なわれることに対し心配も増えて来ています。

これからも新型コロナウイルスの感染防止の取り組みが必要となってきています。イベントなど開催する場合は次の点に、ご留意を頂きたいと思います。

- ① サロン、イベント等の開催について必要性を再考のうえ中止または延期を検討してください。
- ② 開催する場合は、内容を絞り込み必要最小限にして時間を短縮してください。
- ③ 発熱や咳などの症状がある人は参加をお控えください。
- ④ 開催時には、席をなるべく離し、会場の換気を行い感染防止に努めてください。



新型コロナウイルスの感染防止も重要ですが残暑厳しい時期も過ぎて季節の変わり目、インフルエンザ予防の季節に入ってきます。健康管理には十分に注意され活動されますようお願い申し上げます。

みやぎ・せんだい Withコロナ キャンペーン

新型コロナウイルスと向き合い、感染予防に努めよう

宮城県・仙台市・河合新報社
 共同プロジェクト

大切な命を守るため
 続けよう!

「手洗い」と「手指消毒」

油断しないで!
 感染症対策の継続を

県内では新型コロナウイルスへの新規感染が相次ぎ、重大な局面を迎えています。今、私たちにできることは、「新しい生活様式」を取り入れながら感染防止に努めること。一人一人の心がけで、ともにコロナ禍を乗り越えましょう。

感染拡大! 「手・指」からも広がります!

手洗いは30秒程度かけて
 水と石けんで丁寧に!



宮城県・仙台市の健康電話相談窓口(コールセンター) 24時間受け付け
 TEL 022-211-3883 / 022-211-2882

主催 / 宮城県・仙台市・河合新報社 協賛 / 宮城県医師会・仙台市医師会・宮城県薬剤師会
 後援 / ① エンターテイン ② 産業経済 ③ 大野 ④ キリンビール 東北地区本部 ⑤ 弘道館 ⑥ サッポロビール 東北本部 ⑦ サンドリイ ⑧ 東宝東北 ⑨ 日本生命 ⑩ 仙台市 ⑪ 仙台市医師会 ⑫ 仙台市薬剤師会 ⑬ 仙台市消防局 ⑭ 仙台市消防団 ⑮ 仙台市消防協会 ⑯ 仙台市消防組合 ⑰ 仙台市消防連合 ⑱ 仙台市消防連合会 ⑲ 仙台市消防連合会 ⑳ 仙台市消防連合会 ㉑ 仙台市消防連合会 ㉒ 仙台市消防連合会 ㉓ 仙台市消防連合会 ㉔ 仙台市消防連合会 ㉕ 仙台市消防連合会 ㉖ 仙台市消防連合会 ㉗ 仙台市消防連合会 ㉘ 仙台市消防連合会 ㉙ 仙台市消防連合会 ㉚ 仙台市消防連合会 ㉛ 仙台市消防連合会 ㉜ 仙台市消防連合会 ㉝ 仙台市消防連合会 ㉞ 仙台市消防連合会 ㉟ 仙台市消防連合会 ㊱ 仙台市消防連合会 ㊲ 仙台市消防連合会 ㊳ 仙台市消防連合会 ㊴ 仙台市消防連合会 ㊵ 仙台市消防連合会 ㊶ 仙台市消防連合会 ㊷ 仙台市消防連合会 ㊸ 仙台市消防連合会 ㊹ 仙台市消防連合会 ㊺ 仙台市消防連合会 ㊻ 仙台市消防連合会 ㊼ 仙台市消防連合会 ㊽ 仙台市消防連合会 ㊾ 仙台市消防連合会 ㊿ 仙台市消防連合会

みやぎ・せんだいWithコロナキャンペーンは、新型コロナウイルス感染防止の対策をさまざまな視点から紹介し、県民・市民に向け感染予防の徹底を呼びかけるキャンペーンです。また、依頼者からお預かりした寄付金は宮城県・仙台市に寄付され、新型コロナウイルス対策(医療支援等)のために使われます。

ともに乗り越えよう

令和元年度

地区社協活動・決算の概要報告

地域福祉の推進活動 (494,943円)

小地域福祉ネットワーク活動

ニーズ調査・安否確認・日常生活支援

高齢者サロン・子育てサロン助成

民生児童委員協議会活動・福祉委員活動

理事会(総会)・常任理事会の開催

地域福祉情報の提供 (150,420円)

「社協だより」38・39号発行

地区内全戸、地区内半数事業所配布

「社協通信」発行

地区社協の動きのお知らせ

編集会議・その他

研修会の開催・参加 (28,000円)

研修調査・セミナー資料

ニーズ調査、研究調査、資料作成

理事研修会

仙台市社会福祉大会・福祉セミナー

福祉懇話会・ネットワーク活動研修会

地域包括支援センターとネットワークづくり

(台原・花京院・小松島と連携)

その他の活動 (48,406円)

月例役員連絡会の実施

(活動の点検・情報交換ほか)

福社区代表者・班長連絡会(情報交換)

市社協・区社協との連携

(会長会・活動推進委員会ほか)

福祉資金の貸付事業

事業連絡諸費・渉外費

(事務用品・消耗品・通信連絡・印刷・コピー・

センター負担金・払い込み手数料)

令和元年度支出総額 **721,769円**

新型コロナウイルス感染に注意



花京院地域包括支援センター 白鳥 和彦 所長

新型コロナウイルスの感染者は増加傾向にあります。致死率は2%程度とされています。必要以上に恐れず、正しい情報を基に行動することが大切だと思います。

また、感染者や関係者に対して誹謗中傷のニュースは感染が拡大している今、誰にでも感染する可能性があります。自分事として、感染者や関係者に対し、心ある配慮が必要だと思います。

新型コロナウイルスは、人の集まる「楽しい所」、「にぎやかな所」が大好きなウイルスと言われていますが、マスクを外した状態で話をする場面が非常に多く見受けられています。「話すときは必ずマスクを着用する」これだけでも飛沫感染による感染リスクは大きく抑えられます。一方常時のマスク着用は高温多湿となり熱中症の原因にもなります。人と距離を保てる場合は、マスクを外す等、うまくコントロールすることも大切です。

自粛により在宅生活が多くなりがちですが、「今の楽しみは何ですか?」との質問にすぐに楽しみが浮かばなかった方は、この機会に、是非、楽しみを見つけることをお勧めします。早朝に散歩する、世界文学作品集を読破する、ぬり絵に取り組む等、何でも良いと思います。楽しみを持つことは、生活に潤いを与えてくれます。

地域の通いの場であるサロン会や運動自主グループ等では、第2波の影響により、再開を断念されたグループも数多くみられ、繋がりがなくなった方の中には、認知症状が出現(悪化)した、どこにも出かけられず足腰が弱くなったという報告もあります。

1日も早く平穏な日が戻り、地域の活動が再開される日のことを願いつつ、手洗い：うがい：手指消毒：換気をしっかりと行い、心身ともに健康で過ごしていただきたいと思います。



「音楽の力」と心の復興

(公財)音楽の力による復興センター 東北 代表理事

長命荘町内会長 **大澤 隆夫**

2011年3月11日の東日本大震災発生から2週間後、仙台駅東にある見瑞寺で最初の復興コンサートを開きました。大震災後、被災地で公開で行われた初めてのコンサートでした。主催は仙台フィルハーモニー管弦楽団と音楽の力による復興センター。私は当時仙台フィルの事務局を預かっており、その後一年ほどはこの二つの団体のお世話をしていました。以来当センターは小さな団体ですが、活動の柱となる復興コンサートは900回を超え、コロナ禍のなかでも少しずつですが、活動を継続しています。昨年7月には、復興大臣から感謝状をいただきました。

大震災以降、「音楽の力」掲げて「慰問疲れ」を起したり、支援する音楽はこうあるべきと決めつけたコンサートも多く、「音楽の力」という考え方には、疑問が寄せられることもありました。しかし、さる2月に東京で開催されたシンポジウムで基調講演を行った奥山前仙台市長や阪神・淡路大震災、熊本地震などに際して音楽を通じて復興支援に取り組んだ皆さんは、それぞれの活動のなかで心の復興に果たす「音楽の力」に強い確信をもっていました。

復興における「音楽の力」の活用には、大きな流れがあることが明らかになっています。例えば、震災当初は音楽を通じて震災の記憶に向き合い、喪ったものを受け入れ、前を向き、状況が落ち着いてからは、周囲の人や社会とのつながりを取り戻していく、と音楽の果たす役割が指摘されています。これは災害で孤立無援に陥った人を、互いに支え合う機能を持つコミュニティに復帰できるように支援する「心のケア」と繋がります。

復興コンサートは、プロの音楽家に演奏を依頼していますが、「美しい音楽を提供する」ことにとどまるものではありません。音楽やコンサートの場を通じて、被災者同士、あるいは被災者と演奏家が豊かな時間を共有して、共感が生まれ、交流につながりコミュニティが再び造られたり、被災者がそこに参加したりする契機となることが目的です。音楽の力を引き出す工夫が大切です。

当センターのコーディネーターが、事前に現地を下見し、被災者の状況などを詳細に聞き取り、一方で演奏家ともしっかり連絡をとってコンサートを組み立てているのも、力を引き出すためです。こうして、月命日に花を手向けるように音楽を手向ける「メモリアルコンサート」、音楽を囲んで居場所をつくる「うたカフェ」など被災状況や復興の進展にあわせた事業も生まれてきています。現在、被災3県でコンサートを開催していますが、「心のケア」や「心の復興」には、長い時間が必要です。もうしばらくのご支援、ご協力をお願いします。



指揮を務めた佐藤寿一さん



ソプラノの管英三子さんは京都から駆けつけた



コンサートの最後には全員で『故郷』を歌った



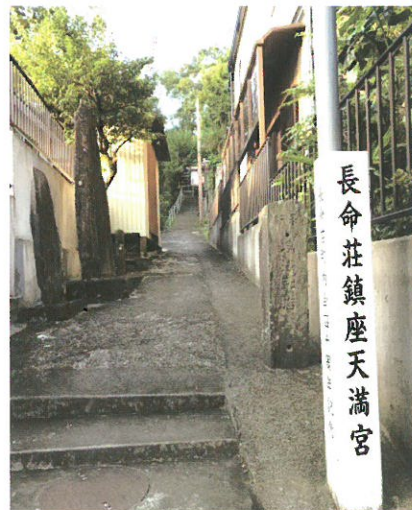
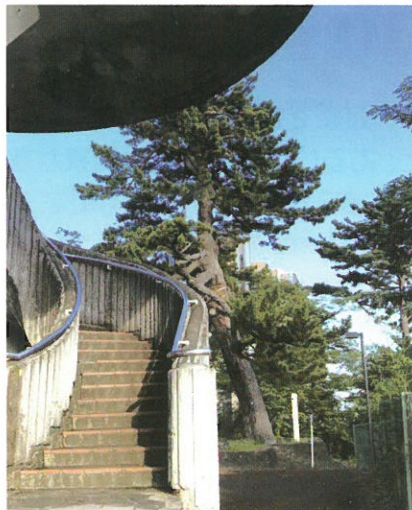
民生委員・児童委員 大久保 佳奈子

今年の3月全国一斉に行われた学校の休校措置から季節はめぐり秋になりましたね。その間私たちは自粛と感染予防に誰もが努めて来ましたが、なかなか明るい兆しが見えてこず、つい不安な気持ちになってしまいますよね。そんな時は気分転換と体力保持を兼ねて散歩するのが一番でないでしょうか。え！そんなのやっていますよって?!

はい、では今日は私が子どもの頃からよく行った散歩道をご紹介します。

小松島のバス通りにあるウィンマートを西に入ると我が長命荘町内会に入ります、そのまま進んで正面右を上り突き当たりましたら、右にずーと上ります、少し急な坂と階段を数段上る、そこは私が子どもの時一本松と呼んでいた瞑想の松エリアに入ります。そこから左の緩やかな階段をゆっくり行くと正面にドーンと大きな松が見えてきます。その松には昭和50年の立て札に樹齢620年とあります。ん・・・45年前ですから、今年樹齢665年ですかね・・・確かにそれほど長くここに立っているから、その枝ぶりは少し痛々しくも見えます。しかし側にある展望台に登って見える景色はまさに仙台一望、この景色を松はずっと見守ってきたのだらうと思う。松の気持ちで是非展望台には登ってくださいね。その先は左に下ると薬大のグラウンドを通り台中坂の下へ、北に進んで泉ヶ岳を眺めながら旭ヶ丘へ出るもよし、そこまで行かず途中右に折り返せば今来た緩やかな階段の下に戻ります。もしこの戻り道を来たら、帰日には菅原道真公をお祀りした、長命荘の天満宮へお立ち寄りください。坂を少し下ったらすぐ左に曲がり100m程行った左上奥に鎮座しています。

皆さんのお近くにも楽しい散歩道はあることでしょう。さあ！散歩に出かけましょう。



訃報 長年赤十字小松島分団長、町内会長を務められた 大友幸夫さん

編集後記

社協だより新型コロナ感染等で発行が大分遅くなりました。まだまだ新型コロナウイルス感染は収まりませんが、インフルエンザワクチン接種やマスク、手洗い等出来る予防措置で防衛しましょう。今号は活動出来ない状態が続いていますのでいつもと少し違う情報を取り上げました。ご一読ください。原稿提供していただいたみなさま大変ありがとうございました。(高)